立山砂防安全施工管理技術研究発表会

発田寛樹氏（石黒建設）が最優秀賞

北陸地方整備局立山砂防事務所工事安全対策協議会（会長・大坂剛立山砂防事務所長）は21日、「平成30年度立山砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会」をボルファートとやま（富山市奥田新町）で開催した結果、最優秀賞は発田寛樹氏（石黒建設）、優秀賞は若林俊克氏（高尾建設）と山口哲央氏（酒井建設）に決定した。

発表会には行政機関、建設会社、コンサルタントなどの関係者約220人が参加し、大坂会長は冒頭のあいさつで、「平成という年号は変わっていくが、我々砂防関係工事に携わるものは平成8年の蒲原沢土石流災害の教訓を忘れず、風化させることなく、さらなる安全対策の強化を図らなければならない。各現場での優秀・優良な事例発表をお願いし、情報共有を図ることは非常に有意義で、この機会を有効に活用して頂きたい」と述べた。

引き続き、後援機関、審査委員の紹介が行われ、今年度に応募があった25編から審査で選ばれた8編の論文発表、質疑応答などが順次進められた。また、北陸地方整備局河川部地域河川調整官の浅井誠二氏が「砂防工事における生産性向上と安全確保について」と題して特別講演を行った。

同発表会は、平成8年12月6日に発生した新潟・長野県境の蒲原沢土石流災害（作業員14人死亡）を教訓として、平成11年度から毎年行われている。立山砂防工事に携る工事従事者が研究会という場で、安全施工管理の新たな技術を相互に発表・意見交換し合うことで、今後の安全施工に関わる技術の向上につなげていくことなどを目的としている。

後援は、富山労働基準監督署、魚津労働基準監督署、建設業労働災害防止協会富山県支部、（一社）富山県建設業協会、富山市建設業協会、立山町建設業協会、実業建設新報社、富山県土木施工管理技士会、砂防施工管理研究会。

審査結果は次の通り（氏名、所属会社、論文名の順）。

【最優秀賞】

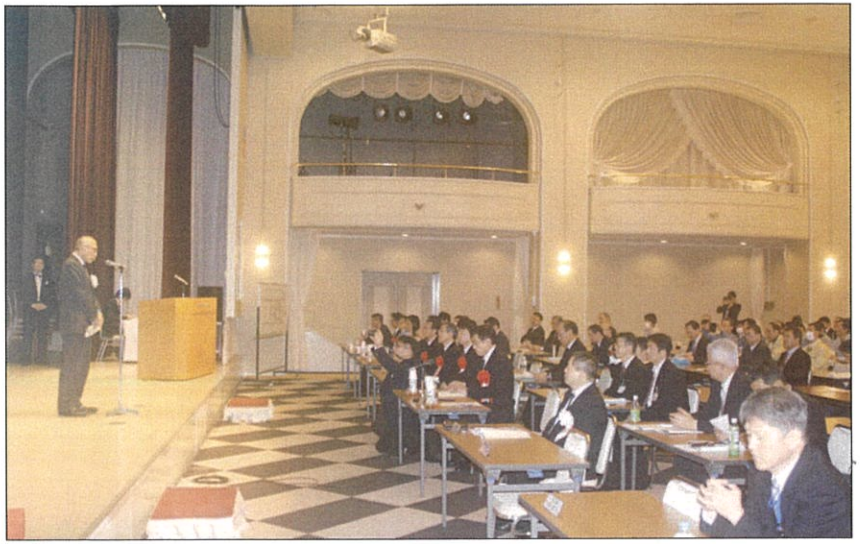
▽発田寛樹（石黒建設）＝「残存型枠組立て時における現場無溶接化への取組みについて」

【優秀賞】

▽若林俊克（高尾建設）＝「サブ谷砂防堰堤工事における土石流・出水対策について」

▽山口哲央（酒井建設）＝「砂防堰堤工事における安全対策について」

【奨励賞】



ボルファートとやまで行われた発表会

論文発表の様子

小又川復旧治山工事

富山森林管理署　3月18日

富山森林管理署は3月18日、「小又川復旧治山工事」を一般競争入札（総合評価落札方式簡易型、施工体制確認型総合評価落札方式）で開札する。

工事場所は上市町早月国有林133・134林班、工事内容は小又川第4号コンクリート谷止工0・4基－コンクリート1450・3㎥、小又川第4号コンクリート副谷止工0・1基－コンクリート217・8㎥で、工期が平成32年2月12日までとなっている。

本工事は、週休2日を促進する試行工事（受注者希望型）である（原則、4週6休以上の現場閉所とする）。実施について